

アート&ライブラリー
みんなの
KICHI

時と機知があふれる基地



秋冬号

『みんなのKICHI』ができる
3つのこと。

●アートワークショップ

絵を描いたり、段ボール工作をしたり。手を使って発想を形にするものづくり。アートといえども図工だけでなく、言葉で表現する作文教室、詩の朗読時間なども開催予定。ゲスト講師は横須賀で活動する作家とタッグを組んで、子どもたちのアイデアに火をつけます。



●ライブラリートーク

書籍を執筆する作家さんをはじめ、美しい音楽を奏でるミュージシャン、社会問題に取り組むジャーナリストや教育者、医療従事者などをゲストに、テーマをもとに語り合うトークイベントを行う他、親子で楽しめる豊かな時間を企画します。終演後は、書籍や作品販売も致します。



●はなしができる

学校のこと、保育園や幼稚園のこと。子どもの生活面で気になること。相談といえるほど悩んではいないけれど……という話でも大丈夫。保育士をはじめ、子どもの教育に携わっているプロが親身にお聞きます。大人だけでなく、子どもが直接お話しに来てくれても歓迎です。



※初年度は固定の場所ではなく、公共施設など市内を巡ります。随時予定はwebにアップします。

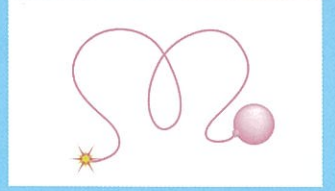
みんなのKICHIは、令和8年度こどもの居場所づくり支援体制強化事業に係るNPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業の国庫補助協議の結果、採択されました(こども家庭庁より)。主体は横須賀市、マザールは企画運営を担う協業プロジェクトです。
主催:横須賀市 企画運営:有)マザール

『みんなのKICHI』公式サイト
<https://minkichi.jp/>



事前予約制!
申し込みフォームはこちら

<https://motheru.jp/evet/minkichi-program/>



マザール

有限会社マザール
〒238-0004 横須賀市小川町19-5 富士ビル3階
☎ motheru2004@gmail.com 🌐 <https://motheru.jp/>



自由な表現には、きっかけが詰まっている。
『みんなのKICHI』に込めた意味

マザールは、『お母さんを社会に混ぜる』をコンセプトに「働くお母さんの食と職を応援する」広告企画会社として2004年に起業し、これまで続けてまいりました。2020年にコロナ禍となり大きな転機を迎え、独学で保育士資格取得。



マザール:あべみちこ

保育園→幼稚園→児童相談所→子育て相談センター→小規模保育園の他、隙間でベビーシッターも200件以上携わり、多くの児童とご家庭を支えてまいりました。そうした現場で経験を積む一方で、マザールの法人として新たに親子が元気になるプロジェクトを何かできないかと構想しつつ試行錯誤してまいりました。

起業22年目となる2026年春。子どもの育ちに困難を抱える家庭をはじめ、学校の枠組みからこぼれてしまっている子どもたちに伴走したいと考え、構想を具体化して動き始めることにしました。

みんなのKICHIは、家や学校以外のサードプレイスという意味の「基地」。そして、集まるみんなに幸運が訪れる「吉」の意味と、「機知」に富む大人がスキルを發揮できる場。そうした意味を掛け合わせた遊び場をつくりたいと考えて、初年度はアートワークショップとライブラリートークの2本立ての企画を展開します。

スケジュールと企画詳細はwebやSNSでチェックできます。どうぞいらしてください。

アート&ライブラリー
みんなの
KICHI

アートワークショップ

12月 DECEMBER

12/6 田浦コミュニティセンター・4階第2・3学習室
『海のゴミをアートに!漁網ツリーをつくろう』
午前部 10:00~12:00(開場 9:30)
午後部 13:00~15:00(開場 12:30)

捨てればゴミ、活かせば資源。廃材の資源循環をテーマにしたサーキュラーエコノミー。海洋プラスチックゴミを洗浄して使用できる素材に換え、緑色の漁網をアップサイクルしたツリーに海のゴミでオーナメントをつかって飾ります。完成品は期間限定で展示し、撤去まで行います(ゴミにはしません)。



■ゲスト/三井真由美(イドベタ代表)

「一般社団法人イドベタ」は、I do better×We do better=eco-friendlyをテーマに福岡県糸島市を拠点に海洋プラスチックのアップサイクルや環境教育などのサステナブルな活動を展開する団体です。ごみから資源へ、九州から世界へというビジョンで立ち上げ、地球環境問題を自分ごととして捉え、関わる人=関係人口を増やしていくという想いを込めています。

ライブラリートーク 無料

12/20 久里浜コミュニティセンター・集会室
音楽会「クリスマスに贈る、夢を叶える演奏」
14:00~15:30(開場 13:30)

馬頭琴奏者・美炎さんとドラムパーカッション・前田さんの音楽ユニット「ポラリス(北極星)」による音楽会。自然豊かな場所で暮らすお二人に学生時代を振り返ってもらい、身を置く環境から得る学び、夢を実現する力についてお話を伺います。



■ゲスト/ポラリス〜馬頭琴奏者・美炎

モンゴルの伝統楽器「馬頭琴」の奏者・作曲家。チ・ブルグド氏に師事し、人間国宝チ・ボラグ氏率いる「野馬アンサンブル」にも参加した実力派。映画『13人の刺客』やゲーム音楽への参加、メディア出演など幅広く活動し、現在はユニット「ポラリス〜馬頭琴美炎」としても活動中。

こどももおとなも夢中になれる。 あたらしい横須賀の遊び場です。

ライブラリートーク 無料 9月 SEPTEMBER

9/6
日
久里浜コミュニティセンター・集会室
「星を知り、宇宙に触れる。夜空を旅しよう」
14:00~15:30(開場 13:30)

夜空をゆっくり眺めながら、星にまつわる物語にうっとり耳を傾けてみませんか。
ゲストの永田美絵さんはコスモプラネタリウム渋谷のチーフ解説員で、星に関する著書多数。
永田さんの癒しの声による星空案内を堪能しましょう。
夜になるのが待ち遠しくなる星空探検。
レクチャーとトークセッション、参加型クイズや質問コーナーもあります。

■ ゲスト / 永田美絵 (コスモプラネタリウム渋谷のチーフ解説員)

キャッチフレーズは「癒しの星空解説員」2000年よりNHKラジオ第一「子ども科学電話相談」の天文・宇宙回答者を務めている。プラネタリウムに限らず様々な場所で講演や星空解説を行い、宇宙の壮大さや地球の美しさを伝え続けている。著書に『ここにそっとよりそう星空の話』(イースト・プレス)、『カリスマ解説員の楽しい星空入門』(筑摩書房)、『星と宇宙のふしぎ109』『太陽系のふしぎ109』偕成社、など多数。東京新聞『星の物語』連載中。
■ 小惑星登録 美絵 (みえ、11528 Mie)



アートワークショップ

9/27
日
長浦コミュニティセンター・第二会議室
「絵本作家・保科琢音さんと絵本をつくろう!」
10:00~12:00(開場 9:30)

絵本作家で絵本出版社ラフコネクトの代表、そして落語家の顔を持つ、多彩なゲスト講師をお迎えして、短時間で参加者が絵本制作を実践。つくるだけでなく、完成した作品を発表してもらいます。「想像力」を育み、「伝える力」に弾みをつけるワークショップです。

■ ゲスト / 保科琢音 (絵本作家・絵本出版社代表・落語家)

公立図書館に10年間勤めた後、絵本作家・紙芝居作家として本格的に活動を始める。創作だけではなく絵本と紙芝居の読みあわせ口演を精力的に行っている。幼稚園、保育園、小学校、図書館、美術館、科学館、寺院、子ども病院、療育施設、障害児・者施設等…これまでに全国各地700か所以上、口演回数は3,000回を超える。他にも、子育て支援施設業務委託、障害児施設美術プログラム講師。コラム執筆等。活動は多岐に渡る。また、絵書家筆之輔(えかきやぶでのすけ)の芸名で落語家としても活動。2021年に絵本の出版社「ラフコネクト」を設立し取締役社長に就任。絵本の編集・出版・販売や、新人絵本作家の育成等、絵本に関わる全てのことを仕事にしている。2023年から絵本を創る学校「えほん寺子屋」を主宰。現在は横浜校とオンライン校が開校。



ライブラリートーク 無料 10月 OCTOBER

10/4
日
追浜コミュニティセンター北館・集会室
『「学校がしんどい」をどうする?~心の健康から教育の現在を問う』
14:00~15:30(開場 13:30)

増大する不登校、いじめ、子どもの自殺、教師のバーンアウト…。
疲弊する現場では、生徒だけでなく、教壇を去る教師が後を絶たない。
今回は、不登校にフォーカスして学校現場で起こっていることをお聞きしながら、子どもや教師をどう支えるべきか?また、「心の健康」という観点から教育のありようを参加者の皆さんと共に考えます。

■ ゲスト / 伊藤美奈子 (教育臨床心理学専攻・神戸女子大学心理学部教授・奈良女子大学名誉教授)

慶應義塾大学教授や奈良女子大学教授を経て、現職。高校教師やスクールカウンセラーとしての長年の経験を活かし、不登校や学校メンタルヘルスに関する実証的な研究を行っている。文部科学省などの委員も務め、教員の指導力向上や子どもたちの支援に尽力している。近著に「学校のメンタルヘルスー子ども、教師をどう支えるか」(岩波新書)、他、著書多数。



アートワークショップ

10/18
日
久里浜コミュニティセンター第1・2会議室
「水彩画に添える、ことばの力」
午前部 10:00~12:00(開場 9:30)
午後部 13:00~15:00(開場 12:30)

自分の好きな瞬間を切り取る水彩画を描いてみよう。
10月の季節にぴったりな果物やお花をはじめ恒例行事となったハロウィンを意識した猫やお化けの絵でも可。その絵に筆で言葉を添えてみます。言葉を添えることで、グンとパワーアップ。完成品を講評し合う時間もつくりま。

■ ゲスト / 新井理玖 (ことば絵作家)

1999年岐阜県生まれ。岐阜県立加納高校美術科卒。12歳の頃に初めて筆をとる。個展「12歳のことば絵展」を開催。目の前の人を見てパッと浮かぶメッセージと挿絵を色紙に表現する「ことば絵」を届け続けている。これまで描いた色紙の数は約2万枚以上。2018年高校卒業と同時に岐阜市に「アトリエぼく色」をかまえる。現在、岐阜と東京の二拠点活動中。



アートワークショップ 11月 NOVEMBER

11/8
日
長浦コミュニティセンター・第二会議室
「アフリカ生地でコラージュ!世界にひとつだけのアイテムをつくろう」
10:00~11:30(開場 9:30)

カラフルでパワー溢れる絵柄。丈夫で発色が綺麗なアフリカ生地から、好きな柄を選んでコラージュ。切って、貼って、アイロンするだけ。たちまちポップな一枚に!お好きなTシャツまたはトレーナーなど綿素材の服を持参して変身させましょう。世界でひとつだけのアイテムをつくりま。

MOYOIはスワヒリ語で「心」。MOYOMOYOとつなげて「心と心のつながり」を表す。アフリカの女性支援に取り組む野坂さんから、素敵なコラージュ事例もレクチャーして頂きます。

■ 講師 / 野坂由紀子 (MOYOMOYO AFRICA 代表)

1958年、東京都生まれ。夫の仕事の都合でケニア・タンザニア・ザンビア・ウガンダで30年近いアフリカ生活を送る。現地ではアフリカ女性のテイラーさん達との交友が始まり、彼女達を支援する活動としてMOYOMOYO AFRICAというブランドを設立。最後の駐在地であったウガンダに長女夫婦が3歳の孫を連れてやって来て1年2か月同居、その間に長女夫婦と共にMOYOMOYO AFRICAの活動を本格化させた。2022年に帰国し葉山に居を構えた後も現地女性テイラーさん達の自立支援やアフリカ布の魅力を発信することを目的とした活動を展開している。



ライブラリートーク 無料

11/22
日
追浜コミュニティセンター北館・集会室
『子育て・孫育てにエールをおくる!中川ひろたかさんの「うた・絵本」』
14:00~15:30(開場 13:30)

300冊以上の著書と約2600曲の歌を制作する絵本作家・シンガーソングライターの、中川ひろたかさんのこれまでのお仕事を振り返りながら、ものをつくること、表現することについてお話を伺います。保育士として仕事をされていた経歴をふまえ、作家としてデビュー後の主たる作品を紐解きます。ひろたかさん作曲の歌を参加者と共に歌う時間や、参加者にお気に入りの一冊をご持参いただき、その理由を語ってもらい、その本のメイキングをお話し頂く時間も設けます。

■ ゲスト / 中川ひろたか (絵本作家・シンガーソングライター)

1954年埼玉県生まれ。保育士、バンド「トラヤ帽子店」を経て、現在はシンガーソングライター、絵本作家として全国で親子コンサート、講演などで活躍中。A1あそびうたグランプリ、D1だじゃれグランプリ主宰、四條畷学園短期大学客員教授。1995年「さつまのおいも」(童心社)で絵本デビュー。1998年子どもの歌の専門レーベル「ソングレコード」設立。2005年「ないた」(金の星社)で日本絵本賞受賞。横須賀こどもといっしょアンバサダー

